学長のことば　　中野敬一　　2024 年 4 月 3 日

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
ご家族、ご関係の皆様、本日は誠におめでとうございます。神戸女学院大学の教職員を代表してご入学のお祝いを申し上げます。

神戸女学院大学は 1875 年、アメリカから来日された二人の女性宣教師イライザ・タルカットとジュリア・ダッドレーの両先生によって創立されました。創立以来、女性教育を行い、女性の活躍を応援し続ける歴史を重ね、来年には創立 150 周年という大きな節目を迎えます。皆さんと共にその記念の時を迎えられることを楽しみにしています。

さて、神戸女学院大学はどういう人をお迎えしたいか、ということを、本学の『アドミッションポリシー』に示しています。そこでは、「とりわけ、以下にあてはまる人を歓迎します」と記しています。

1. 自分で決めた目標に対して自ら行動したい人
2. 専門的知識を深く学びたい人
3. 現代社会の課題に強い関心があり、複合的な視点から取り組みたい人
4. 多種多様な人とコミュニケーションし、世の人々のために尽したい人

1. は、「主体性」ということです。主体性というのは、自分で見つけた目標に向かって行動を起こすことを指します。「自立」という言葉とも深い関係があります。主体性を身に着けることで将来予期せぬことが起こったときにも、自分で対応できる人になれると思います。

2. の「専門的知識を深く学びたい人」に、私たちは応えることができます。
様々な分野の専門家がいるのが大学です。深く掘り下げていく学びは楽しいものです。
ぜひ積極的に教員に質問してください。

3. の「現代社会の課題に強い関心があり、複合的な視点から取り組みたい人」は、自分の視野を拡げ、物事を多角的にみることを心がけてください。本学はリベラルアーツ教育を教育の一つの柱としていますが、自分の専門とは異なる領域にもご自身の関心を拡げてみましょう。ものごとを別の角度からみることで新たな発見があり、異なるものを繋げる力を養うことができます。

4. の「多種多様な人とコミュニケーション」することを望む人は、勇気をもって周りの人と関わってください。新しい出会いによって自分の世界が拡がります。とくに本学は教育の柱に「国際理解の精神」を掲げています。自ら留学にいくことや、本学で学ぶ留学生と関わることにも挑戦してみましょう。勇気が要りますが、その勇気が皆さんの将来の可能性を拡げることでしょう。

そして、様々な関わりを通じて「世の人々のためにつくしたい」と願う人を私たちは歓迎します。神戸女学院は学院の永久標語として「愛神愛隣」を掲げています。神を愛し、隣人を愛するという意味ですが、隣人と関わり、自分のためだけでなく隣人の喜びや幸せのために自分を用いたいと願う人、そういう人を育てたいというのが本学の建学の精神です。こういう人が一人でも増えることで世界が良い方向へと進むと信じています。

皆さんはご自身の成長を期待して、神戸女学院大学の門を叩いてくださいました。
私たちはそんな皆さんをあらためて心より歓迎いたします。神戸女学院大学の教育プログラムは、皆さんが期待されていることに応えられるものです。そして、皆さんがそうしたいと望んでおられることを私たち教職員は全力で応援し、適切なアドバイスやサポートができるように努めてまいります。

最初は不安もあると思います。でも、安心してください。2 週間前にこの場所で卒業式が行われ、卒業生が新しい人生へと旅立ちました。皆さんの先輩たちは「入学した時は不安でいっぱいでした」と言っておられましたが、卒業するときの顔つきは自信に満ちたものであり、彼女たちの成長を大変嬉しくおもいました。私たちは新入生の皆さんがそのような姿になられる日を今から楽しみにしています。

覚えておいていただきたいことがあります。大学生活は想像しておられるよりも短いです。多くのことを学び、多くのことを経験することができる時間ですが、「振り返ってみるとあっという間でした」というのも卒業生からの言葉です。焦る必要はありませんが、計画的に日々を過ごしてください。

皆さんの今日から始まる神戸女学院大学の学生として日々が充実した時となり、人生の中で掛け替えのない素晴らしい時間となることを願います。神様の祝福が新入生の皆様とそのご家族のうえに豊かにありますよう祈りつつ、学長のことばといたします。